

退任の挨拶

牛島 聡会長・藤本 豊大幹事

牛島 聡会長

会員の皆様一年間大変お世話になりました。何とか今年度の最終例会を迎えることが出来たのも、皆様のご協力とご支援があったおかげと、心より感謝いたします。



クラブにとって今年度は二つの大きな乗り越えなくてはならないことがございました。1つは創立30周年記念式典の開催。もう1つは事務局の引継ぎでした。

1つ目の創立30周年の周年事業を無事に終えることが大きな課題でしたが、高山実行委員長には微に入り細に入りご手配を頂き、そして皆様のクラブをあげたご協力により無事執り行うことが出来ました。ここであらためて皆様に御礼を申し上げます。

2つ目の須永さんから伊東さんへの事務局の引継ぎですが、皆様も実感されていますように大変うまくいっています。伊東さん引き続きよろしく願いいたします。

今年度はクラブテーマを「魅力あるクラブにするために行動しよう」でした。年度初めの会長挨拶で、創立30年を節目として次の10年に向けて具体的の方針を示し、それを実行する年度としましよと申し上げました。

主な事業は前年度の木宮パスト会長が実践された奉仕事業の継続と新たなクラブ戦略の構築でした。継続事業の神田カレーグランプリ会場や神田岩本町ファミリーバザール会場でのエンドポリオのパネル設置と会員がクラブ襷をかけてアピールした公共イメージ向上活動の実施、複数年で実施しているウォーキングクリーンプロジェクトなどは実施出来ました。海外での奉仕はタイ米山学会とのタイアップでタイのコンケン県バーンノーントンラングノーンパイガム小学校の支援でしたが、こちらは木宮パスト会長のご尽力に頼りっぱなしでした。

新たなクラブ戦略の構築については手を付けた段階で具体的に着手できませんでした。先日のクラブフォーラムでようやく今後の進め方が見えてきた程度で、私の実行力不足が招いたことと大変悔やんでおります。

西村パスト会長年度、木宮パスト会長年度と2年続けて特徴のあるクラブ運営をされてきましたが、2回目の会長職ということもあり少し安全運転のクラブ運営になってしまった感があります。自ら掲げたテーマなのに魅力あるクラブにするために行動できただろうか、1年を振り返ると反省ばかりです。

しかし、後悔だけではございません。まずは素晴らしい奉仕の精神を持たれた日根野会員を迎えることが出来ましたし、長年の友人でもある豊岡会員も迎えることが出来ました。会員間の親睦活動も出来たのではないかと実感しております。金沢親睦旅行も角田親睦委員長とスーパーサポートをいただいた西村さん、岡田さんのおかげで大変有意義な親睦となりました。

また、今年度は他クラブとの合同例会も実施いたしました。他クラブの方々や例会の仕方など自クラブだけでは経験のできない出会いがありました。

会員増強の件ですが、年度スタート時の会員数38名を40名越えにと目標を定めておりましたが、結局は1名減の37名であります。創立よりクラブへの多大な貢献をしていただいたチャーターメンバーである八木会員、傳会員、長年にわたり会計をお勤めいただいた戸部会員の退会は痛恨の極みであります。皆様のご協力で会員増強もでき、何とか40名で終われそうだと思っておりましたので、クラブにとっても私にとっても大変厳しい結果となりました。しかし、次年度は既に2名の増強がみこめておりますので、皆様の増強へのご協力のたまものであります。本日はチャーターメンバーの小池先生にご出席いただいております。小池先生ありがとうございます。感謝申し上げます。

私は、リアルな例会はやはり毎週が望ましいと思っております。新入会員が早くクラブになじんでいただくにも、ニコニコの年度総額を多くするためにも、そして活気あるクラブにするためにも必要だと感じております。仕事が忙しい会員でも毎週例会が有ればどこかで出席することができます。会費を上げずに、今のクオリティを維持しつつ毎週の例会をリアルで実施するには、やはり会員の数が重要です。私の試算では50名が理想です。私が入会したころ紀尾井町RCの会員数はお茶の水と同じくらいだったと思いますが、現在は80名を超えています。神田RCは帝国ホテルでの例会を維持するために猛烈な会員増強をされました。2つのクラブに増強のヒントがあると思います。紀尾井町さんは仕事上で出会った、もしくは関わっている方に積極的勧誘しました。会員の出入りは激しいようですが目標を100名に設定して着実に近づいています。会員の半数近くが女性会員であるのも特徴です。神田さんは新会長の出身校の慶応つながりへの積極的な(執拗な?)誘いや、地元つながりの掘り起こしが成功されています。各クラブにはそれぞれの風土がありますので単純にまねをしてもうまくはいかないと思いますが、検証しお茶の水にあったやり方を探してこれからの10年で50名を目指しましょう。

最後になりますが、今年度クラブ運営を理事役員、各委員長として支えていただきました

海江田 会長エレクト、
中野 副幹事、
大原 会員増強・退会防止委員長、
相倉 職業奉仕委員長、
木宮 奉仕プロジェクト委員長、
佐々木 ロータリー財団委員長、
山下 出席・SAA 委員長、
渡辺 プログラム委員長、
角田 親睦活動委員長、
笠原 雑誌会報・広報・ロータリー情報委員長、
岡田 社会奉仕委員長
木村 国際奉仕委員長
神保 青少年奉仕委員長
永井 米山委員長、

1年間大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。事務局の伊東さん、なれないロータリー独特の業務や業務時間外の私へのLINEや会員達の対応にご苦労されたことと思います。ありがとうございます。東京ドームホテルの皆様 福島魚を使っていたきたいとか無理なお願いにご対応いただきまして感謝申し上げます。

そしてこの方を忘れてはいけません。最も不得意と思われるオンラインのセッティングに毎週大汗を流し、私の精神的支えとなり共に一年間走っていただいた藤本 幹事、本当に、本当にありがとうございました。

皆様、6月30日をもちまして私と藤本幹事は、次年度の海江田会長、中野幹事にバトンを渡します。次年度も一層のご協力のほどお願いいたします。一年間お世話になりました。

藤本 豊大幹事

今期の幹事を務めさせていただきました藤本です。

正直申しあげて、幹事という重職に就任することなど、数年前まで考えてもいませんでした。入会して14年程になるものの、例会への出席は酷い時は年に数回なんてこともあり、何年間かは休会もしていました。牛島会長から幹事就任のお声がけをいただいたのは、2年程前にたまたま参加しました長野旅行の宴会でした。その席で、牛島会長から不意打ちで、背後から「藤本さん！ 幹事！」と大きな声をかけられ、「はい？」と後ろを振り返ったのが、就任承諾の意思表示となりました。

RCの幹事の役割は、詳細はともかく、会長を支え、クラブ運営の要として、よりきめ細やかな気配りをもって会員やゲストの方々等に諸々の貢献することにあるとイメージしていますが、通信簿をつけるとすれば、赤点ギリギリではないかとは思いますが、曲がりなりにも途中退任することなく任期満了を迎えることができ、赤点を免れたのは、皆様に諸々のサポートをしていただいたおかげであり、本当に感謝しております。

終えてみれば、本当にあっという間の1年だったな、というのが正気な感想でして、ではこの1年何をしてきたのかと言えば、恥ずかしながら、例会にほぼ毎回出席することと、会員や卓話者のためにパソコンの操作をすることのほぼ繰り返しでした。とは言っても、私からすれば、例会にほぼ毎回出席するなんてことも以前はなかったことですし、裏方としてパソコンの操作をするということも、ほぼ初めてのことでした。

例会に毎回出席することで、自分では知り会ったり、お話を聞くことがまずできない多くの素晴らしいゲストの方の卓話をお聞きすることができました。

後楽 RC との合同例会で台湾と日本との交流について卓話いただきました張淑玲さんは、情報量・内容ともに素晴らしかったのは勿論のこと、とにかく人間力というかオーラに引き込まれてしまいました。親子はねやすめ代表理事の宮地浩太様の卓話は、同団体の活動に素晴らしい社会的意義があることが分かり、かつ宮地様が目を輝かせてお話する姿は非常に感動的で尊敬できるものでした。杏雲堂病院の古川一美様におかれましては、認知症の基本的知識をあれほど詳細かつ分かりやすく情報提供いただいたことは私の知る限りありませんでした。手前味噌ですが、日本スーパーカー協会の須山泰宏さんには、幹事になったことをきっかけに、10 数年ぶりに卓話のお声がけをし、分かりやすく楽しい卓話をしていただきました。これも幹事になったからこそ、このような形で旧友と再会が出来、感謝しております。

中央分区分千代田 6 クラブの合同例会も毎回出席し、各クラブの創造的かつ社会的意義のある奉仕活動を共有できました。東京 RC の筑紫会長が合同例会で、1つ1つの

奉仕活動は、範囲が限定されていたりするものですが、奉仕活動をすれば、それはとてつもなく大きな、社会全体に影響する奉仕活動になる、というお話を2度ほどされていたのが印象的で、RCにおける奉仕の意義というものを再認識しました。

以上のとおり、毎回例会に出席するというだけでも、改めて整理すると、これだけの成果を得ることができました。これも皆様のサポートのお陰です。改めて御礼申しあげて、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



牛島会長、藤本幹事、ありがとうございました！